

令和4年4月15日(金)
国土交通省 関東地方整備局
品木ダム水質管理所

記者発表資料

令和4年度 品木ダム水質管理所事業の概要

群馬県渋川市で利根川へ合流する吾妻川は、草津白根山に起因する酸性河川の流入によって酸性化し、古来より魚も棲まない「死の川」と呼ばれていました。この酸性水により鉄やコンクリートで造られた河川工作物は急速に劣化したり、農業用水の灌漑エリアでも酸性化が著しい土壌となるなど、地域経済の発展や水利用の大きな障害にもなっていました。そして、その影響は利根川本川にまで及んでいました。

この酸性河川のうち、酸性度の高い湯川・谷沢川・大沢川に石灰を投入し中和を行う水質改善事業を行っているのが「品木ダム水質管理所」です。

中和事業は昭和32年に群馬県単独の事業として調査に着手し、昭和39より中和作業を開始しました。その後事業の重要性により昭和43年に直轄化され、現在まで365日24時間休むことなく行っています。

令和4年度の予算と主要事業は以下の通りです。

事業費	予算額(億円)	主要事業
堰堤維持費	10.5	酸性河川の中和事業、 品木ダム浚渫
堰堤改良費	2.3	中和施設改修等
計	12.8	

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ、テレビ記者会

問い合わせ先

所 属 国土交通省 関東地方整備局 品木ダム水質管理所

氏 名 管理所长 きねぶち しんいち
杵淵 新一 (内線201)建設専門官 しろた けんいち
城田 健一 (内線406)

電 話 0279-88-5677

F A X 0279-88-4734

酸性河川の中和事業

品木ダム水質管理所では、吾妻川に流れ込む強い酸性河川を中和する水質改善を365日24時間休むことなく行っています。

草津中和工場で湯川、香草中和工場で大沢川と谷沢川に石灰（石灰石粉を川の水と混合したもの）を投入しています。

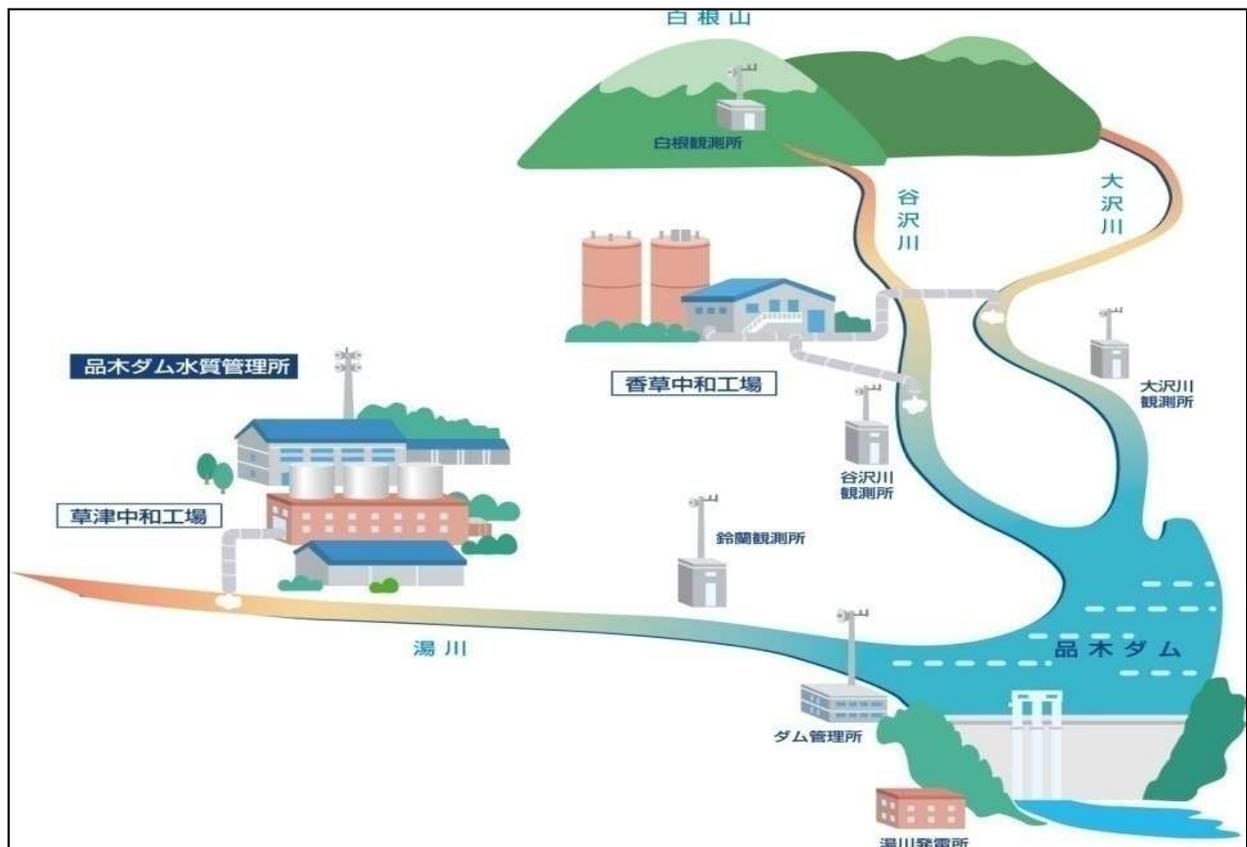
品木ダムは、石灰を投入した河川水をため、中和反応を促進させるとともに、中和反応で生じる中和生成物等を貯めています。



草津中和工場



香草中和工場



品木ダム全景

品木ダム浚渫

1. 事業概要

品木ダムに流入・堆積した中和生成物等の浚渫を実施し、ダムの容量を確保するものです。

2. 事業箇所

群馬県吾妻郡中之条町入山地先付近

3. 事業内容



浚渫状況

ポンプ圧送



脱水機場



処分場



脱水機場内フィルタープレス



脱水した浚渫土

運搬・固化処理し盛土

中和施設改修

1. 事業概要

2箇所の中和施設のうち香草中和工場は、大沢川と谷沢川に石灰を投入する重要な設備です。本工事は稼働に必要となる重要な機器等について二重化及び更新を図ることにより安定した稼働となり、中和作業の信頼性を高めることとなります。

2. 事業箇所

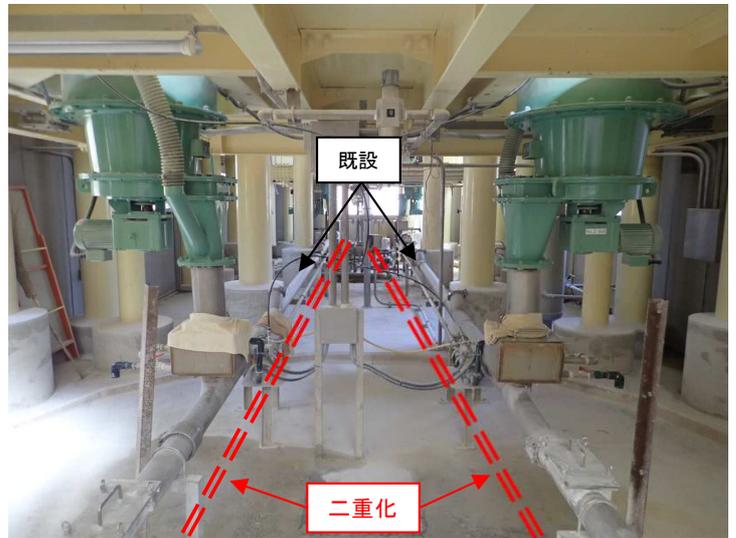
群馬県吾妻郡草津町大字草津地先他

3. 事業内容

香草中和工場



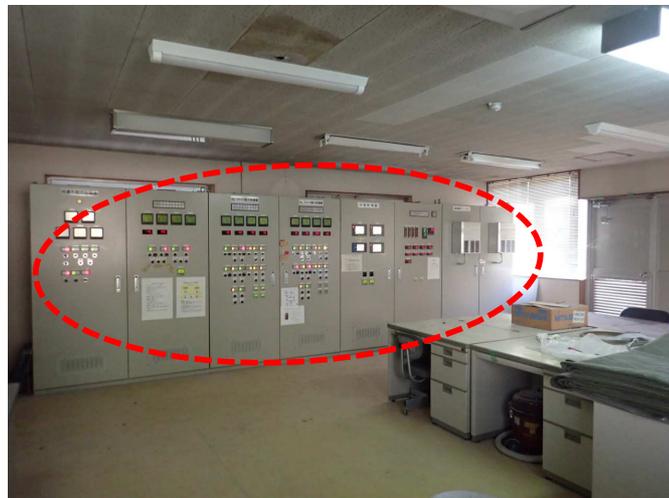
石灰溶解配管の二重化



用水槽の二重化



機側操作盤の更新



遠隔操作装置の更新

